

障害のある人の就労を応援する

はたらく

NO.19

2026 March

特集：企業等で働く障害のある 当事者が語る

奈良県障害者雇用推進フォーラム

第一化工株式会社

介護老人保健施設でいあほうむ吉野

職場実習の取組紹介(株式会社 弥杜工業)

もにす認定企業紹介(なんとチャレンジド株式会社)

「就労選択支援」のご案内、他

奈良県・奈良労働局

奈良県障害者雇用推進フォーラム

令和7年9月4日(水)、橿原市役所分庁舎4階ミグランスにおいて「奈良県障害者雇用推進フォーラム」を開催しました。県内の企業や就労支援機関などから約60名が参加し、障害者雇用の取組紹介や課題共有を行いました。

当日は、障害のある従業員の方による意見発表に続き、大阪市職業リハビリテーションセンター所長・酒井京子様を講師にお迎えし、障害のある方がやりがいをもって働ける職場づくりや、「雇用の質」の向上に向けた取組についてお話しいただきました。本フォーラムは、奈良県と奈良労働局が共同で開催したものです。

奈良県知事 開催挨拶

令和6年における奈良県内民間企業の障害者雇用率は3.0%となり、全国第2位（第1位は沖縄県）となっています。近年、本県は全国トップクラスの障害者雇用率を継続して維持しており、これもひとえに企業の皆様方の深いご理解と多大なるご協力の賜物であると、心より感謝申し上げます。

本日は、障害者雇用優良事業所として表彰を受けられる事業者が1社あります。

日頃より障害者雇用の促進に多大なご貢献を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。また、障害者はたらく応援団ならに新たに4事業所（株式会社汎建製作所様、株式会社イベント21様、株式会社弥杜工業様、医療法人あすか会様）が登録されます。今後、これらの事業所におかれましても、更なる障害者雇用の推進に向けた積極的な取組が展開されることを期待しております。



山下 真 奈良県知事

パネルディスカッション（障害のある従業員の方からの意見発表）

「第一化工株式会社」様および「医療法人豊生会老人保健施設であほうむ吉野」様に勤務されている障害のある従業員の方々より、入職の経緯や得意とする業務内容、日々の業務においてやりがいを感じている点などについて、ご本人の思いをご発表いただきました。また、各職場の上司の方々にもご登壇いただき、担当業務の内容や、従業員の方々の仕事ぶりについてお話いただきました。さらに、各事業所における日頃の勤務の様子を撮影した動画を視聴していただき、職場において生き生きと活躍されている様子を紹介していただきました。意見発表の内容については、P2、P3をご覧ください。



パネルディスカッション

（左：第一化工株式会社様、右：医療法人豊生会老人保健施設であほうむ吉野様）



開催挨拶（山下知事）

企業等で働く障害のある当事者が語る (1)

第一化工株式会社 にご勤務の 柿本 直樹 さん

第一化工株式会社に就職して、今年で9年目になります。奈良県立高等養護学校を卒業しました。高校3年生のときに第一化工株式会社に職場実習しました。成形加工部署で製品の梱包作業を体験しました。もともと工場で働きたいという思いがあったこと、また親の勧めもあり、この会社への就職を自分で決めました。就職後は製造3課に配属され、印刷機の調整やインクの補充、製品の梱包などの業務を担当しています。自分が梱包した製品が次々と積み上がっていく様子を見ると、「これだけやれた」と実感することができ、やりがいを感じます。特に印刷機の調整には自信があります。機械を調整してラインがスムーズに動いたときには、大きな達成感を得られます。



仕事をする中で難しいと感じているのは、書類を書くことです。書類作成は苦手ですが、上司や周囲の方に教えてもらいながら、少しずつ取り組んでいます。1年前には、製造3課の副班長を任されるようになりました。お給料が増えたことは嬉しい反面、責任や仕事の幅も広がり、大変さを感じることもあります。普段の業務内容はこれまでと大きく変わりませんが、初めて来られたパートの方に仕事を教えることは、特に難しいと感じています。

学生時代から障害者のソフトボールチームに所属しており、日曜日はチームの活動に参加してリフレッシュしています。また、学校の同窓会で同級生と話をすることもあり、副班長になってお給料が増えたことを友人に話しました。体力には自信があり、これまで病気で仕事を休むことはほとんどありませんでしたが、コロナに感染した際には初めて仕事を休み、とてもつらい思いをしました。その経験から、普段から手洗いなどの健康管理に、より気をつけるようになりました。

将来やってみたいことは、今のところ具体的には思い浮かびませんが、やはりお給料が増えることは大きな励みになります。これからも、苦手な仕事にも前向きに取り組み、さらに成長していきたいと思っています。



第一化工株式会社

昭和31年（1956年）に創業し、昭和62年（1987年）に、新工場を建設、高品質なプラスチック容器の製造、食品、化粧品、トイレタリーなど生活関連を中心にエコ商品地下水エアコン、雨傘しずく取り器などのプラスチック製の容器を生産しています。

〒630-8453 奈良県奈良市西九条町5丁目4番9号

TEL : 0742-50-2222

協力：代表取締役社長 小西 淳文 様、総務部総務課長 植盛 大 様

企業等で働く障害のある当事者が語る (2)

医療法人豊生会 介護老人保健施設 であほうむ吉野 にご勤務の
土井 雷基 さん

2年前に奈良県立大淀養護学校を卒業しました。卒業する時に、先生の勧めで障害者就業・生活支援センター「ハローJob」に登録し、就労継続支援B型事業所でパンづくりの仕事に取り組みながら、就職を目指してきました。私は小さい頃から、保育園の理事長さんのように、周囲の人たちから信頼され、頼られる存在になりたいと思っていました。しかし、自分にどのような仕事が向いているのかは、なかなか分からずにいました。

学校を卒業した頃、家では母が祖母を介護しており、その姿を毎日見ていました。介護の仕事は人から頼りにされる仕事だと感じ、また体力にも自信があったことから、ハローJobの川本さんに介護の仕事に挑戦してみたいと相談しました。



その後、「であほうむ吉野」で職場実習をさせていただくことになりました。心配性な性格のため最初はとても不安でしたが、スタッフの皆さんがいつも気にかけて、フォローしてくださったおかげで、働きやすい職場だと感じるようになりました。実習中は、利用者さんから突然「これをやって」と声をかけられる場面が一番難しく、困ることもありました。分からないときには周囲のスタッフの方に聞くよう心がけました。利用者さんから「ありがとう」と言ってもらえたときは、とても嬉しかったです。

であほうむ吉野までは片道約2時間かかりますが、自力で通勤することに決めました。就職した当初は近鉄吉野線福神駅まで迎えに来てもらっていましたが、今では電動自転車で、駅から自分の力で通勤しています。

体に筋肉がついてくると前向きな気持ちになります。目標は「スラッとしたマッチョ」です。周囲の人から「体が引き締まってきたね」と声をかけて貰えると嬉しくなります。初めてのお給料で、ダンベルとボウリングのマイボールを買いました。職場では、荷物の搬入や棚への物品の積み上げなど、体力を生かした仕事に積極的に取り組んでいます。利用者さんの昔のお話や難しい言葉のお話を聞くときは、返事に困ることがあります。でも、入浴の後、利用者さんに靴下を履いていただく介護場面で「ありがとう」と言って貰えると、この仕事をしていて良かったと感じます。今では、自分でできる仕事は自分で行うようにしています。これからも、自分でできる仕事を一つひとつ増やしていきたいと思っています。



医療法人豊生会介護老人保健施設 であほうむ吉野

平成7年（1995年）橿原市に設立され、平成14（2002年）、吉野郡大淀町に介護老人保健施設 であほうむ吉野を開設されました。地域に根ざした医療・介護サービスを提供しています。

〒638-0853 奈良県吉野郡大淀町矢走666番地の6

TEL 0747-54-3388

協力：理事長 森下 豊 様 副施設長 小森 智江 様

ご講演

講師：大阪市職業リハビリテーションセンター所長 酒井 京子 様
 演題：共に働く社会を目指して



「働く」に向けて可能性をつむぐことは、働く本人の可能性を広げるだけでなく、企業の可能性を広げることにもなる、また、本人の持っている力を最大限発揮することができる環境に身を置くよう、支援機関、教育機関、家族などが支援し、働くことを諦めない地域をつくるために、まずは自分の地域を知ることから始める。

障害者雇用を通じて好ましい企業風土を醸成するために

《多様性の尊重》障害の有無に関わらず働ける環境を整えることで、社員一人ひとりの個性や強みを大切にする風土が広がる。また、互いに補い合う職場づくりにつながる。

《コミュニケーションの活性化》支援や配慮の工夫する中で、社員同士の声かけ・協力が自然に増えていく。

《働きやすさの向上》業務改善は、障害のある社員だけでなく、シニアや外国籍社員、育児・介護中の社員にプラスとなる。

《人材育成》障害のある社員への指導や配慮を通じて、上司・同僚のマネジメント力が向上する。

《社会的評価の向上》SDG s やESG経営の観点から、障害者雇用に前向きな企業は社外からの信頼を得やすい。

また、新たな障害福祉サービスとして令和7年10月より開始されている就労選択支援事業(注)に期待することは、利用者本人の可能性の幅や選択肢が広がり、利用者本人の自己理解が促進され、支援者のアセスメントスキルの向上などが挙げられる。

(注)：詳細については、P10を参照ください。

奈良県障害者雇用優良事業所等知事表彰に医療法人あすか会 様が受賞

医療法人あすか会 様が、令和7年度の奈良県障害者雇用優良事業所等知事表彰を受賞されました。



左：山下 真 奈良県知事
 右：医療法人あすか会
 理事長 榎木 晋作 様

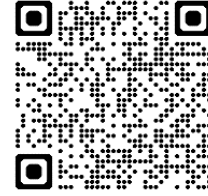
《事業所紹介》

医療法人あすか会 様は、平成18年、奈良市帝塚山2丁目に「介護老人保健施設 アンジェロ」を開設しました。平成25年には、小規模多機能型居宅介護とグループホームを併設した地域密着型サービス「アンジェロ三碓の里」を、平成27年にはサービス付き高齢者向け住宅「Cocode百楽園」を開設しました。さらに「あすかホームクリニック」「ヘルパーステーションアンジェロ」「訪問看護ステーションアンジェロ」とともに、切れ目のない在宅支援サービスを提供しています。

また、令和元年には生駒市上町に「介護老人保健施設ハビリス」、令和2年には看護小規模多機能型居宅介護「グループホームハビリス鶏邑」を新たに開設し、「訪問看護ステーションハビリス」を併設しました。これにより、医療・介護を一体的に提供し、グループ全体で地域リハビリテーションを展開する体制を整えました。

たとえ障害があっても、「住み慣れたところで、そこに住む人々と共に、安全に生き生きとした生活が可能となるよう、地域みんなで支えたい」この願いを大切にしながら、多くの方の理想の暮らしを実現できるよう支援しています。また、県立特別支援学校の生徒による職場実習についても積極的に受け入れています。

奈良テレビ放送「ならフライデー9」にて、 県の障害者雇用の取組が放送されました



<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=fr9r3dCrhHA>

視聴期限が令和8年8月21日ごろの予定となっています。以後はリンク切れとなり視聴できなくなりますので、ご注意ください。

令和7年8月22日（金）に奈良テレビ放送「ならフライデー9」にて、「障害者はたらく応援団なら」の取組や障害のある方が県内の職場で生き生きと働く様子などが紹介されました。



BonCafe で働く大藤さん



番組制作に当たっては、社会福祉法人萌が運営する障害者就労継続支援B型事業所 BonCafe（大和郡山市満願寺町）にて福祉的就労に取り組む大藤さん（上の写真3枚）と株式会社パルのブランド Discoat（イオンモール大和郡山店）に勤務している中山さん（下の写真3枚）の生き生きと働く姿を取材させていただきました。スタジオでは、障害者就業・生活支援センターライクのセンター長の高田さん、県障害福祉課共生推進係長の田中さんが出演し、奈良県が取り組む障害者雇用についてのトークなど30分間枠で生放送されました。

この放送内容は、奈良県政や奈良の魅力を動画で発信するインターネット放送局「奈良県公式総合チャンネル」より動画にて視聴していただくことができます。上記のQRコードまたはURLからアクセスしていただきますと視聴することができますので、ぜひご覧ください。（視聴期限：令和8年8月21日ごろの予定）



Discoat で働く中山さん（左）とショップマネージャーの宮嶋さん（右）

職場実習の取組(株式会社 弥杜工業)

職場実習は、障害のある方が働く意義を理解し、就労に向けた基礎的な姿勢を身につけるうえで重要な機会となっています。また、受け入れ企業の皆さまにとっても、障害者への理解を深め、共生社会の実現に向けた取組を進めるうえで有意義なものです。このたび、土木業界において、県立高等養護学校の生徒2名を対象として初めて実施した職場実習を取材しましたので、その概要をご紹介します。

株式会社弥杜工業様は、若者が自然と集まり、誇りを持って働き、地域の発展に貢献できる「奈良の先駆企業」を目指し、土木業界の新たな可能性の創出に取り組んでいます。従来の建設業に対する「きつい・汚い・危険」といったいわゆる“3K”のイメージを払拭し、若い世代が「働きたい」と思える「給与・休暇・希望」の“新3K”の実現を掲げ、業界全体の変革を推進しています。同社では、若手からベテランまで幅広い世代の社員が活躍しており、若手の意見も積極的に取り入れながら成長の機会を提供しています。制服・作業靴・空調服を会社負担で支給しており、特に制服は社員の声を反映したデザインとなっています。また、従業員が自発的に資格取得に取り組めるよう、各種支援制度を整備し、さらには、多様なキャリアパスを用意し、若手が早期に独り立ちして安定した収入を得られる環境と、ベテランが長く安心して働き続けられる仕組みを両立させることで、誰もが活躍できる職場づくりを進めています。これらの取組は、障害のある方の就労ニーズにも応えられる雇用機会の創出につながるものであり、職場実習の受け入れをはじめ、次世代の土木業界を担う人材育成に向けた取組を進めています。

職場実習を体験した生徒さんからは、「土嚢づくりは大変だったけれど、学校では学べないことを実際に体験することができて、今後の進路選択に生かしていきたい。」、「実習最終日に、社長さんが手作りで作ってくださった実習修了証を貰ったことが嬉しかった。」などの感想が聞かれました。



株式会社 弥杜工業

本社：奈良市大宮町七丁目1番65-1号

営業所：奈良市横井5丁目382-1

TEL :0742-93-4563

協力：代表取締役 林 龍児 様

障害者はたらく応援団なら

奈良県と奈良労働局が共同で運営する「障害者はたらく応援団なら」は、意見交換会の開催、職場実習の実施、就労支援セミナーの開催など官民が一体となって一般企業等への障害者就労を支援する取組を行っています。

登録企業・団体等の皆様にご協力をお願いしている3つの応援

職場実習拡大への応援

職場実習先の提供

- 現場実習の積極的な受入等
- 障害者雇用ノウハウの提供

障害理解への応援

各種取組の実施

- 障害者雇用に向けた周知・啓発
- まほろば「あいサポート運動」(注)への参加・実施

働き続けるための応援

職場定着への支援

- 支援機関と連携した職場定着支援
- 個別ケースへの助言

(注) 障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい共生社会を実現するために推進している運動です。

下線は令和7年9月新規登録事業所

県内企業

■ 製造業	ケイミュー株式会社 奈良テクノセンター 株式会社ジェイテクト 奈良工場 奈良積水株式会社 セキスイハイム工業株式会社 近畿事業所 GMB株式会社 第一化工株式会社 天龍化学工業株式会社 シンワ精機株式会社 株式会社ジェイテクトマシンシステム 福西メリヤス株式会社 株式会社 三久工業 株式会社 日電鉄工所 株式会社 汎建製作所
■ 製造販売業	佐藤薬品工業株式会社 タビオ奈良株式会社 ラック産業株式会社 葛城工業株式会社 株式会社呉竹
■ 金融業	株式会社 南都銀行 奈良中央信用金庫
■ 旅客運送業	奈良交通株式会社
■ 宿泊業	株式会社奈良ホテル 株式会社奈良ロイヤルホテル 株式会社ホテルマネジメント 【ホテル日航奈良】
■ 小売業	株式会社いそかわ 市民生活協同組合ならコープ
■ 飲食サービス業	株式会社アドバンス 【日本マクドナルド株式会社フランチャイジー】
■ 食品製造業	大徳食品株式会社・奈良事業所
■ 印刷業	株式会社アイブリコム
■ 医療・福祉業	ウェルコンサル株式会社 社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院 社会福祉法人うねび会 社会福祉法人協同福祉会 社会福祉法人清光会 社会福祉法人奈良市社会福祉協議会 社会福祉法人万葉福祉会 万葉苑 社会福祉法人萌 社会福祉法人ぶろぼの

※ 奈良県内で雇用保険の加入手続きを行っている事業所

■ 医療・福祉業	ヒューマンヘリテージ株式会社 社会福祉法人三寿福祉会 株式会社ハートフルコープよしの 社会福祉法人仁南会 医療法人清和会 社会福祉法人奈良市和楽園 株式会社ウィルジャパン 医療法人豊生会介護老人保健施設 でいあほうむ吉野 社会福祉法人檸檬会 ソーシャルインクルージョンヴィレッジ <u>医療法人あすか会</u>
■ 農産物加工業	株式会社ハートフルコープなら 【ならコープ特例子会社】
■ 酪農業	植村牧場株式会社
■ 物品リース業	小山株式会社
■ ビルメンテナンス業	アスカ美装株式会社 株式会社KBS 株式会社シティサービス
■ イベント業	<u>株式会社イベント21</u>
■ 土木業	<u>株式会社弥村工業</u>
■ 農業	株式会社パンドラファームグループ UEDAなっば工房
■ その他事業	株式会社CWS なんとチャレンジ株式会社 【南都銀行特例子会社】

県外企業

※ 奈良県外で雇用保険の加入手続きを行っている事業所

■ 小売業	イオンリテール株式会社 株式会社エーコープ近畿 株式会社近商ストア 株式会社パル
■ 製造販売業	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン 株式会社大阪支社
■ 宅配業	ヤマト運輸株式会社
■ 飲食サービス業	スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 株式会社王将フードサービス
■ 不動産総合管理業	大和ライフネクスト株式会社

令和7年9月現在 計69社

障害者雇用に優良な中小事業主として

なんとチャレンジド株式会社 が認定されました（もにす認定制度）

「もにす認定制度」とは、障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度で、令和2年4月から実施しています。この認定制度により、認定企業が障害者雇用における身近なロールモデルとして認知されることで、地域における障害者雇用の取り組みの一層の推進が期待されます。企業と障害者が、共に明るい未来や社会の実現に向けて「ともにすすむ」という思いをこめて、愛称を「もにす」と名付けました。令和7年12月に認定しました事業所を紹介します。



なんとチャレンジド株式会社 様

2018年8月に障害者の雇用促進を目的として、株式会社南都銀行の100%出資子会社として設立され、2019年2月には特例子会社としての認定を受けています。

【業種】 その他サービス業(銀行の事務代行業務) 【会社概要】 株式会社南都銀行の特例子会社

【所在地】 奈良市南京終町1丁目93-2 【ホームページ】 <https://www.nantochallenged.co.jp/>



《障害者雇用への取組》

実雇用率：43.18% 過去3年間に採用した障害者の就職6ヶ月後定着率：83.3%

《キャリア形成》

障害のある社員の就労状況等を踏まえ、高い評価を受けた者については、フロアチーフ候補として責任ある職場に就いていく制度を設け、社員のキャリア形成を推進しています。

《仕事づくり》

事業創出および障害のある社員の新規業務の切り出しを目的として、銀行業務で使用する帳票類に係る業務などを新たに開始しています。また銀行内の各部署や関連会社においても、新規業務の切り出しに継続的に取り組んでいます。

《環境づくり》

- ・身体障害のある社員のため、社内はすべてバリアフリー化を図っており、多目的トイレや屋根付きの障害者用駐車スペースを設置しています。
- ・聴覚障害のある社員がグループ会社に在籍していることから、社内において手話勉強会を定期的実施しています。
- ・業務マニュアルの作成にあたっては、障害特性に配慮し、図や写真を多用するなど、社員が理解しやすい内容となるよう工夫しています。
- ・採用後は、障害特性に応じた適切な配置が行えるよう、職場実習期間中の様子や本人との面談内容を踏まえて職場配置を決定しており、特定の部署に固定することなく、定期的にジョブローテーションを実施し、さまざまな職務を経験できる機会を設けています。
- ・社員のアビリンピックへの参加を会社として支援しており、受賞者については社内表彰を行っています。
- ・銀行の健康保険組合が契約しているスポーツ施設や保養施設の利用を促進するなど、福利厚生の充実を図っています。

事業主のみなさまへ

障害者の法定雇用率引き上げについて

障害に関係なく、希望や能力に応じて、誰もが職業を通じた社会参加のできる「共生社会」実現の理念の下、全ての事業主に、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります。この法定雇用率の引き上げと、障害者雇用の支援策の強化についてお知らせします。

Point

①

障害者の法定雇用率が段階的に引き上げられます。（令和6年4月以降）

	令和5年度	令和6年4月	令和8年7月
民間企業の法定雇用率	2.3% ⇒	2.5% ⇒	2.7%
対象事業主の範囲	43.5人以上	40.0人以上	37.5人以上

Point

②

除外率が引き下げられました。（令和7年4月）

各除外率設定業種ごとにそれぞれ10ポイント引き下げられ、令和7年4月1日から変わりました。

（これまで除外率が10%以下であった業種は除外率制度の対象外となりました。）

※ 詳細については、奈良労働局のホームページ、QRコード(右)またはURL(下)よりご確認ください。



https://jsite.mhlw.go.jp/nara-roudoukyoku/riyousha_mokuteki_menu/jigyounushi/oshirase/_120031_00082.html

Point

③

障害者雇用における障害者の算定方法が変更となりました。

▶ 精神障害者の算定特例の延長（令和5年4月以降）

週所定労働時間が20時間以上30時間未満の精神障害者について、当分の間、雇用率上、雇入れからの期間等に関係なく、1カウントとして算定できるようになりました。

▶ 一部の週所定労働時間20時間未満の方の雇用率への算定（令和6年4月以降）

週所定労働時間が10時間以上20時間未満の精神障害者、重度身体障害者及び重度知的障害者について、雇用率上、0.5カウントとして算定できるようになりました。

Point

④

障害者雇用のための事業主支援を強化しました。（令和6年4月以降）

▶ 「障害者雇用相談援助事業」が始まっています。

- ◆ 障害者雇用に関する相談援助を行う事業者から、原則無料で、雇入れやその雇用継続を図るために必要な一連の雇用管理に関する相談援助を受けることができるようになりました。

（「障害者雇用相談援助事業」利用のご案内：<https://www.mhlw.go.jp/content/001245754.pdf>）



奈良労働局

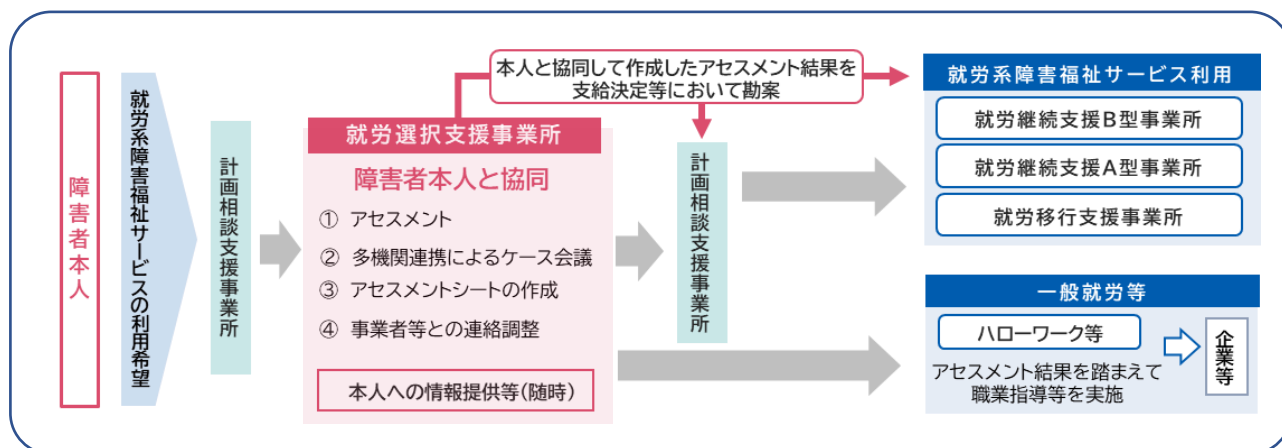
就労系障害福祉サービスを利用される皆さまへ

令和7年10月から開始された新しい就労系障害福祉サービス 「就労選択支援」のご案内

令和7年10月1日から、障害者本人が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する「就労選択支援」が開始されました。

就労選択支援の主な内容

- (1) 作業場面を活用した状況把握（アセスメント）
短期間の生産活動等を通じて、就労に関する適性等の評価や意向等を整理します。
- (2) 多機関連携によるケース会議
利用者や関係機関を招集して多機関によるケース会議を開催します。
- (3) アセスメントシートの作成
アセスメントやケース会議を踏まえアセスメント結果を作成し、利用者や相談支援機関等に伝えます。
- (4) 事業者等との連絡調整
アセスメント結果を踏まえ、関係機関等との連絡調整を行います。



就労選択支援の対象者

- 就労移行支援や就労継続支援の利用を検討している方が対象となります。
- 就労選択支援の施行に伴い、令和7年10月から、就労継続支援B型は、従来の就労アセスメントに代わり「就労選択支援事業所によるアセスメントにより、就労面に係る課題等の把握が行われている者」が対象となります。近隣に就労選択支援事業所がない場合は自治体にご相談ください。
- 特別支援学校等の生徒は、必要に応じて、在学中に複数回利用することも可能です。

令和7年10月以降、新たに就労継続支援B型を利用しようと考えている方
どのような就労先や働き方が自分に合っているのか迷っている方 などが対象となります。

お住まいの市町村役場や相談支援事業所にご相談ください

障害者就労支援機関

公共職業安定所

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町387（奈良第3地方合同庁舎内）	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

なら障害者就業・生活支援センターコンパス	〒630-8441 奈良市神殿町656-4(2階)	TEL 0742-93-7535 FAX 0742-93-7537
なら東和障害者就業・生活支援センターたいよう	〒633-0091 桜井市桜井232ヤガビル3階302号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センターライク	〒639-1134 大和郡山市柳2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センターブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町2-9-19今井長屋1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7181
なら南和障害者就業・生活支援センターハローJob	〒638-0821 吉野郡大淀町下淵158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

奈良支部	〒634-0033 橿原市城殿町433	TEL 0744-22-5232 FAX 0744-22-5234
奈良支部 奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899

発行元 奈良県福祉保険部障害福祉課
〒630-8501
奈良市登大路町30番地
TEL 0742-27-8922
FAX 0742-22-1814



奈良労働局職業安定部職業対策課
〒630-8570
奈良市法蓮町387番地
奈良第3地方合同庁舎2階
TEL 0742-32-0209

